

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

農家ユニット ハタムグリ（千葉県佐倉市）



【生産概要】（令和4年産）

- ・農地面積：約1.55ha
- ・栽培品目数：約100品目（露地野菜、花、ハーブ、果樹等）

【経営概要】

- ・農場開設：個人生産者2名が2021年に農家ユニット「ハタムグリ」を結成
- ・取得している認証：2022年に有機JASをグループ認証で取得
- ・販売先：レストラン、農作物直売所、個人宅配、インターネット販売等



■農家ユニット結成のきっかけ

- ・2人の勤務先だった前職の農業部門（有機栽培）の廃止にともない退職し、お互い自然の中にある雑草等を最大限に利用する循環型農業を目指す考え方や農法が同じであったため、農家ユニットを結成することにしました。

■取組の特徴、栽培技術や工夫している点

- ・農薬や化学肥料を使用せずに野菜を生産することや、農業資材を可能な限り使用しないことなど、生態系に負担をかけない循環型農業を目指しています。
- ・耕作放棄地を再生させながら、雑草も可能な限り農業資材や緑肥として利用しています。農業用ビニールマルチの代わりに雑草、藁、籾殻、落ち葉等でマルチングすることや、侵入竹や木を炭にして畑に散布して土づくりをしています。
- ・堆肥は自宅で飼育している馬と鶏の糞に水稻農家から譲り受けた籾殻と米糠を混ぜ合わせ、農場で発酵させて作成しています。
- ・栽培する野菜（品目）はこれまでの経験を活かしながら雑草の植生を見て、その地に合う品目を考えて相談して決めています。
- ・栽培技術は有機農業が盛んなヨーロッパのサイトを参考に、お互い相談して実践しています。基本的には今まで得た知識と経験を活かし独学で行っています。

■取組のメリット

- ・農薬、化学肥料を一切使用せず、安心・安全で植物本来の美味しさが味わえ、また、里山の環境負荷低減に貢献できることです。
- ・循環型農業で自然のサイクルを子どもやその家族に体験してもらえることです。

■今後取り組みたいこと

- ・耕作放棄地となっている隣接した農地を借受け、それらを再生しながら作付面積を約3haまで規模拡大したいと考えています。労働力の観点からそこまでの規模拡大が難しいときは、現在佐倉市が「オーガニックビレッジ宣言」に向け取り組んでいるので、今後、有機農業の仲間を増やすためにも新規就農者が来たときに農地を紹介したいと考えています。

ほ場地：千葉県佐倉市下志津

フェイスブック [ハタムグリ](#) | [Sakura-shi Chiba](#) | [Facebook](#)